

五大都市 神戸市2年ぶりの優勝

第44回五大都市体育大会サッカー競技は、7月8、9、10の3日間、大阪市榎サッカー場において開催された。

神戸市代表チームはセントラルSC神戸、三洋電機洲本を中心として、三菱電線工業、三菱重工神戸、神戸FC1970の5チームで構成し、2年振りの優勝を飾った。

◇第44回 5大都市大会 結果

1 回戦	神戸市	2	$\begin{pmatrix} 2-0 \\ 0-0 \end{pmatrix}$	0	京都市
準決勝	神戸市	1	$\begin{pmatrix} 1-1 \\ 0-0 \end{pmatrix}$	1	名古屋
決勝戦	神戸市	2	$\begin{pmatrix} 2-0 \\ 0-0 \end{pmatrix}$	0	大阪市

1 回戦は元気のない京都市に、福田(三洋)の2ゴールで快勝し、好調な滑り出しを見せた。準決勝は苦手とする名古屋市と当たり、D Fのクッヤーミスからこぼれ球を拾われて、中央突破され今大会唯一の失点を喫した。しかし、前半終了間際にクロスボールから福田のヘッドを田中(三洋)が見事なボレーシュートで同点に追いついた。チームにとって一番良い時間帯の得点であった。後半は押し気

味に試合を進めていたが、残り10分に何でもないプレーから小丸(三洋)が退場となり、10人で戦ったが、FWの早いチェックと、D F陣の体を張ったプレーで守り切り、1対1の引き分けとなった。PK戦ではGK松岡(三菱神戸)の好守もあって、4対1で勝って決勝をつけた。

決勝戦は疲れの見えるFW陣、笠谷(セントラル)福田に代えて瀬川(三菱電線)藤本(神戸FC)の若い2人を起用したが、この2人の頑張りがあり、町(三菱神戸)からの大きな展開から八木(セントラル)のヘッドを藤本が合わせて先制ゴール。続けて相手のスローインをカットした瀬川の丁寧なセンターリングを藤本がなんとか決めて前半を2-0とリードした。

後半は田辺FBCを中心とする地元大阪市に中盤をキープされて苦しい展開となったが、西田(三菱電線)山本(セントラル)を中心とするDF陣の頑張りで、無失点に切り抜け快勝した。

今回のチームはベテランと若手がうまく噛み合い、非常にまとまった頑張りのきくチームとなり、五大都市大会神戸市選手団で唯一の単独優勝という成果を生んだ。(森川和俊)

滝川第二高2回戦で退く 平成元年度全国高校総体

平成元年度全国高校総体は四国4県で開催され、サッカー競技は8月2日から高知県の7会場で、55校が出場して行われた。

決勝は8月8日、春野運動公園陸上競技場で、準決勝で南宇和を2対0で降した清水市商と、北陽を1対0で破った大宮東の間で争われた。5試合完封の清水市商が卓越した個人技と、正確なシュートで得点をかさね、6対2で大宮東を破って優勝した。

兵庫県代表の滝川第二は1回戦で郡山商を大量点で破って2回戦に進出、南宇和と対戦した。前半を1点に押さえながら後半の失点が痛く、挽回することが出来なかった。

◇平成元年度 全国高校総体記録(関係分)

▷1 回戦	滝川第二	6	$\begin{pmatrix} 3-0 \\ 3-0 \end{pmatrix}$	0	郡山商
▷2 回戦	滝川第二	0	$\begin{pmatrix} 0-1 \\ 0-3 \end{pmatrix}$	4	南宇和

◇第43回兵庫県大会サッカー競技 兼 赤川杯支部高校選抜対抗戦

▷8月11日

A 1 位	神戸	2-0	B 2 位	東播
B 1 位	淡路	1-0	A 2 位	阪神
A 3 位	中学選抜	2-2	B 3 位	西播
1 試合目敗者	東播	2-1	1 試合目敗者	阪神
1 試合目勝者	神戸	1-1	1 試合目勝者	淡路

1 位	神戸	2 位	淡路	3 位	東播
4 位	阪神	5 位	西播、中学選抜		

神戸市社会人選抜惜敗

兵庫チョンソンフェスティバル

兵庫チョンソン・サッカー・フェスティバルは9月3日、王子陸上競技場で行われた。

神戸市選抜は3月に行われた兵庫県都市対抗に出場したメンバーを中心に戦った。雨上がりで、水の溜まっている所もあり、思うようにプレー出来ない市選抜に対し、中盤をうまくつないだ兵庫朝鮮が、前半に1点を先行した。後半は市選抜もやっとボールがつかまり出し、安堂の惜しいシュートもあって試合を盛り上げたが、無得点に終り0-1で敗れた。

▷9月3日、王子
神戸市社会人選抜 0-1 兵庫朝鮮
▷メンバー 監督 森川和俊 コーチ 松本 猛 選手 天王寺谷、塩形、西村、池田(市役所A) 安堂、大村、山本、坂本(双和運輸) 大久保、森、田中(アーセナル) 山本、小山(神戸高専) 新居(神戸FC) 西川、久松(神鋼本社)

神戸市社会人運営会議予定

次回 2月15日(木)

18時30分から神戸市立勤労会館4階会議室。社会人リーグに参加している各チームの代表者は必ず一人出席して下さい。

個人購読のご案内

弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として70円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。

〒650 神戸市中央区八幡通2-1-10
三木記念神戸市立スポーツ会館内
神戸市サッカー協会 ☎078-232-0753

なお、数人分まとめて申し込まれる場合は割引がありますのでご連絡ください。



ユ・ハイム

平成1年度 第1回 日本女子リーグ開幕

マドンナ旋風吹き荒れる平成元年、サッカー界にも影響したのか、ついに日本女子サッカーリーグが誕生した。

(財)日本サッカー協会は、今年登録種別の第5種(女子)委員会(委員長:堀田哲爾氏)を正式に発足させ、これまで自主活動として10年近く日本の女子サッカーをリードしてきた日本女子連盟はこの委員会に発展的に吸収されることになった。

また、1990年北京で開かれるアジア大会に女子サッカーが正式種目として認められ、1992年にはFIFA主催の第1回女子ワールドカップも予定され

ており、女子サッカー元年ともいえる日本女子サッカーリーグのスタートとなった。

出場チームは、関東から読売SCベレーザ、日産FCレディース、新光精工FCクレール、東海から清水FC、プリマハムFCくノ一、関西から田崎真珠神戸FCレディースの6チームで9月9日に開幕、既に6節を終了し、読売が5勝1分けと、無敗で首位をキープしている。

田崎真珠神戸FCレディースは前期3位で折り返し、後期へ奮起が期待される。

第1回女子ワールドカップめざし 今、ホットな女性の戦い始まる



▲厳しい戦いの中でも明るい田崎真珠神戸FC

神戸FCレディースを田崎真珠(株)がスポンサード



▲9月17日、王子競技場 神戸FC対読売SC 中盤ではげしけり合う加治(神戸)

日本女子リーグは6チームで総当たり前期、後期合わせて30試合が行なわれる。現在6試合と7試合を消化したチームがあり、読売SCベレーザが無敗勝ち点11、失点1と抜群の成績でトップを走っている。読売SCは関東エ

リアより能力の高い選手が集まり、練習環境も良く、安定した力を見せている。

読売に続くのが清水FCで、昨年の清水第8レディースより全日本女子代表の半田、木岡、山田、山口の4選手と、アジアの中でも女子サッカーの水準が高い台湾より、台湾女子代表選手でCFの周台英を移籍補強し、リーグに加盟した。前期はなかなか呼吸が合わなかったが、試合を重ねるごとに調子を上げ緒戦読売に敗れた以外は無敗で2位をキープしている。3位以下は混戦模様で、実力的に見ても日産FC、田崎真珠神戸FC、新光精工クレールのどこが前に出てもおかしくない。最下位のプリマハムFCくノ一だけがまだ2分けのみでまだ1勝を上げていないが、決して侮れないチームである。

社団法人神戸フットボールクラブ(会長:河本春男氏)はレディースの日本女子リーグ加盟を期に、神戸に本社のある田崎真珠株式会社とスポンサード契約をすることになり、

今年より女子チームの協会登録名を田崎真珠神戸FCレディースとすることになった。神戸FCは昭和45年、兵庫サッカー友の会より法人化、幼児から70歳代のベテランまで男女に限らず誰でも入会できる。女子部門は昭和51年に発足し、関西女子連盟に加盟、田嶋昭策監督を中心に練習に励んできた。近年は少女サッカーが阪神間でも盛んになり、ボールセンスのよい選手がレディースに集まるようになった。そして、全国レベルの大会でベスト4に入る力を持つようになり、今回の日本女子リーグ加盟にいたった。神戸FCは入会自由。足に自信のある女性は一歩訪ねてみては。(連絡先電話 078-861-3100)

第1回日本女子リーグ残りゲーム日程

◇1月14日(日) 平塚	13:00 新光クレール	—	日産FC
	15:00 読売ベレーザ	—	田崎真珠神戸FC
◇1月15日(祝) 平塚	13:00 新光クレール	—	清水FC
	15:00 日産FC	—	読売ベレーザ
◇1月21日(日) 千葉秋津	11:00 新光クレール	—	田崎真珠神戸FC
	13:00 読売ベレーザ	—	プリマハムくノ一
	15:00 日産FC	—	清水FC
◇1月28日(日) 東京西が丘	12:00 日産FC	—	田崎真珠神戸FC
	14:00 清水FC	—	読売ベレーザ
◇1月28日(日) 平塚	15:00 プリマハムくノ一	—	新光クレール



▲11月19日、王子競技場 神戸FC対プリマハム 尾板が同点ゴールを決め1-1とする。

第38回神戸市社会人総体 長田区選抜が優勝

第38回神戸市総合体育大会サッカー種目は9月24日から10月10日までの4日間、市内会場で行われた。

育英クラブ、長田クラブ、アーセナルFCで編成された長田区が、1回戦から勝ち上がって、31回大会以来7年ぶりに優勝した。

決勝戦は兵庫区、東灘区を破った北区と、灘区、須磨区、垂水区を破った長田区との対戦となった。1点をリードされた長田区は、前半終了直前に同点に追いつき、後半つつかの見える北区に対して有利にゲームを進め、20分に決勝ゴールを上げて逃げ切った。

北区代表は今年登録したばかりの北斗FCで、個人技の高い良いチームだったので今後の活躍が期待される。又、3年連続優勝を狙った垂水区(神戸工専)は準決勝で長田区にPK戦で敗れ、3位にとどまった。

(社会人委員会 森川)
▷決勝戦(10月10日、神戸中央メイン)
長田区 2-1 北区

第38回 神戸市総合体育大会結果

須磨区(滝川クラブ)	0
灘区(神戸FC・B)	0
長田区(選抜)	2
垂水区(神戸工専)	0
中央区(選抜)	0
北区(北斗FC)	2
兵庫区(三菱電機)	0
東灘区(甲山FC)	0
西区(選抜)	0

早稲田大学	4
仙台大	1
福岡大	0
筑波大	0
中京大	0
徳島大	0
関大	0
松山大学	0
信州大学	0
同志社大	0
鹿屋体育大	0
札幌大	0
大阪商業大	0

有宏スポーツ

東灘区御影本町4丁目11-9 ☎078(412)2601
阪神御影駅南側西へ30m

塩谷スポーツ

兵庫区大開通7丁目5-26 ☎078(576)0870
高速大開駅東

MEN'S SHOP MAC

三宮センター街店 ☎078(391)0895
プレザージュ・トアロード店 ☎078(391)0896
ドルチェ・マック・センター街店 ☎078(332)0141

ヤノ運動用品

本店 中央区三宮町3-8-1 ☎078(391)1121
ファイブ店 中央区三宮町2-7-8 ☎078(331)4578
六甲、長田、白川台、名谷、西明石、高砂、姫路、岡山

スメラ

湊川店 湊川プラザ2階 ☎078(511)2234
鈴蘭台店 ダイエー西側 ☎078(592)0470

加茂トアロード店

中央区三宮町3-8-8 ☎078(392)0234
JR元町駅南側東へ100m

サッカーショップPKF

中央区下山手通3丁目3-10 ☎078(332)5519

ワールドスポーツ

東灘区深江北町4丁目7-3 ☎078(453)2186
阪神深江駅北側信号西

第19回ジュニア サマー・フェスティバル 小学生部門で地元大活躍

第19回ジュニア・サッカー・サマー・フェスティバル(神戸市サッカー協会・社団法人神戸フットボールクラブ共催)は、8月26日から28日まで、ユニバー記念総合運動公園など市内8会場に、小学4年生から高校生まで6部門計62チームが、関東から九州まで西日本各地より参加して熱戦を展開した。

今年は大会二日目に台風が神戸を襲い、二日目を中止するというハプニングに見舞われた。そのため、最終日は大会要項、試合時間を変更して行なわれたが参加チームの協力で無事全日程を終了することが出来た。

その結果、中3以下の部では清水FCが枚方FCを1-0で破り12年ぶり5度目の優勝

を、中1以下の部では日産FCが1-0で読売SCを破り3年連続3度目の優勝を果たした。また、小6以下の部では兵庫県トレンが高知トレンを2-1で破り初優勝を飾った。小5以下の部では、神戸市選抜と神戸FCの地元同士の決勝となり、1-0で神戸市選抜が2年連続2度目の栄冠に輝いた。4年生以下の部では主催クラブの神戸FCがよく頑張りを、決勝でサッカー処の浜松市選抜と1-1で引き分け、両者優勝となった。4年生以下の部で神戸のチームが優勝したのは、第1回大会以来2度目。高校の部では神戸朝鮮高級学校が2勝1分けて優勝した。



▲日本リーグ所属クラブのJrチームも夏は神戸に集まる。古河対神戸



▲小5の部準優勝、神戸FCの部優勝、小4の部優勝、小3の部優勝、小2の部優勝、小1の部優勝、小0の部優勝

今年は、外国からの招待チームはなく、地元の外国人チームへ呼び掛けたところ、高校の部に神戸朝鮮高級学校が、小6、中3の部に西神戸初中級学校が参加した。

また、小学4、5年生の部を、正規の半面の広さで、8人制とした。これは、日本協会が招いた西ドイツのDクラマー・コーチの提言をさっそく取り入れたもので、サッカーの先進地と言われる国では、よく行なわれている。今迄の11人制よりも時間的、空間的に余裕が出来ることにより、選手がまわりを見て、判断し正確な技術を発揮することが出来るようになってくる。そして、一人ひとりのボールをさわる回数も自然に増えて来るので個人のレベルアップによいだろうと考えられて今回のサマーから実験的に取り入れてみる事になった。

◇大会成績

【高校の部】①神戸朝鮮2勝1分②枚方FC2勝1敗③神戸高校2分1敗④神戸FC1分2敗

【中3以下の部】①清水FC②枚方FC③神奈川トレン④住北FC⑤兵庫トレン⑥南宇和トレン⑦広島大河・高槻郡家⑧神戸市中3選抜・神戸FC⑨みさきFC⑩沼見SC

和FC⑬神戸市中2選抜⑭西神戸朝鮮⑮トヨタFC⑯海南FC

【中1以下の部】①日産FC②読売SC③神戸FC④全日空⑤清水FC・古河FC⑦愛知FC⑧交野FC

【小6以下の部】①兵庫トレン②高知トレン③神戸FC・愛知FC⑤熊本教室・豊田市JrSC⑦交野FC⑧神戸市選抜⑨上野選抜⑩海南FC⑪高浜FC⑫明倫FC⑬名古屋JrSC・みさきFC⑮西神戸朝鮮⑯潮見SC

【小5以下の部】①神戸市選抜②神戸FC③広島大河FC④浜松市選抜⑤愛知FC⑥四日市選抜⑦熊本教室⑧枚方FC

【小4以下の部】①神戸FC・浜松市選抜③神戸市選抜④四日市選抜⑤高槻郡家FC・高槻松原FC⑦刈谷SS⑧紫光FC⑨高槻FC⑩高浜FC

第11回神戸兵庫ライオンズクラブ杯

第11回神戸兵庫ライオンズクラブ杯は9月10日から24日まで御崎少年他で行なわれた。

第11回神戸兵庫ライオンズ杯 争奪少年サッカー大会結果

1部 <男子小6以下上級>

木津 A	1-0	2
神陵台 A	2-0	2
東舞子 A	3-0	2
若草 A	4-0	1
本庄 A	5-0	1
神の谷 A	6-2	2
SNSCA	7-2	2
福住 A	8-1	0
西神 A	9-5	0
学園小寺 A	10-0	0
蓮池 A	11-2	3
桜の宮 A	12-3	1
NK A	13-1	1
八多 A	14-0	2
神戸FC A	15-5	2

4部 <女子>

ひよどり台 B	1-0	1
多井畑 A	2-1	1
蓮池 C	3-0	8
高倉台 A	4-6	8
神出	5-0	3
八多 B	6-0	1
西神 B	7-1	1
北五葉 A	8-2	4
箕谷	9-0	1
木津 A	10-1	1

2部 <男子小6以下初級>

NK B	1-0	2
蓮池 C	2-0	2
西須磨 A	3-2	1
西神 B	4-0	2
神の谷 C	5-1	3
木津 C	6-5	3
本庄 B	7-1	1
東舞子 C	8-2	2
桜の宮 C	9-0	1
多井畑 C	10-0	1
ひよどり台 B	11-3	0
高倉台 C	12-0	2
神戸FC B	13-0	2
東灘 B	14-0	0
みさき B	15-6	0
SNSCC	16-1	0
若草 C	17-0	2
北五葉 B	18-0	0
鶴越 B	19-3	1
成徳 A	20-3	3
箕谷 B	21-0	1
つつじが丘 C	22-2	1
夢野 C	23-0	2
北須磨 B	24-7	2
新多聞 B	25-0	1
神戸SSB	26-0	0
神出 A	27-4	4

神戸FCは4年ぶり6度目、多井畑は2年ぶり2度目の優勝となった。2部(男子6年生以下)では、北須磨とコスモが同時優勝となりお互い初優勝となった。3部(男子4年生以下)はNKが強豪多井畑を破り初優勝を飾った。一方、4部(女子の部)では高倉台が夢野を破りこちらも初優勝となった。1部では強豪チームが順当に勝ち上がりベスト4は勢力が均衡したが、2部から4部までは新興勢力の活躍が目立つなど波乱含みの大会だった。

1部、3部の上位3チームは11月に行なわれる第22回兵庫県少年大会に出場した。

3部 <男子小4以下>

SNSCD	1-6	3
ひよどり台 D	2-1	3
桜の宮 D	3-0	3
西神 C	4-2	0
東灘 C	5-0	0
神出 B	6-1	1
NK E	7-0	0
有野 C	8-3	0
新多聞 D	9-3	13
みさき E	10-0	0
神陵台 C	11-2	0
夢野 D	12-0	0
多井畑 D	13-12	3
高倉台 E	14-0	2
若草 D	15-0	2
小寺 C	16-1	0
北五葉 E	17-0	0
木津 D	18-0	0
中央 B	20-3	3
東舞子 D	21-1	1

神戸市社会人リーグ終了

1部は兵庫朝鮮が優勝

2部から神戸オフサイドと神戸FCシニアBが昇格

4月9日に開幕した平成元年度神戸市社会人リーグ戦は、11月26日に終了した。

1部は兵庫朝鮮が8勝1分けて、2位のビートルズAに勝ち点3の差をつけて優勝した。前年度優勝の神戸FC・Aは3位となり、アーセナルFCは前年同様4位につけた。前年度3位の双和運輸は10位と振るわず、9位の関電神戸とともに2部へ降格した。神大同好

会と長田クラブは2部との入替戦を行う。

2部AはKR&ACが全勝で1位となった。1年ごとに力をつけてきた神戸オフサイドが5勝1分1敗で2位となり念願の1部昇格を達成した。

2部Bでは神戸FC・Bが6勝1分1敗で1位となって1部昇格を果たし、滝川クラブが6勝2敗で2位となり1部と入替戦を行う。

平成元年度 神戸市社会人リーグ成績表

1部	兵庫朝鮮	ビートルズA	KFCA	アーセナル	神高専	市役所	神大同好	長田ク	関電	双和運	勝	分	敗	勝点
兵庫朝鮮		0-8	3-1	5-0	2-2	4-1	3-0	2-1	8-1	9-0	8	1	0	17
ビートルズA	1-8		4-4	2-1	2-2	2-1	3-1	2-0	3-0	3-2	6	2	1	14
神戸FC A	1-3	4-4		4-1	0-0	3-0	2-2	2-2	1-0	6-0	4	4	1	12
アーセナル	0-5	1-2	1-4		1-0	3-1	1-1	2-0	3-1	3-1	5	1	3	11
神戸高専	2-2	2-2	0-0	0-1		0-0	1-2	1-0	0-0	4-0	2	5	2	9
神戸市役所	1-4	1-2	0-3	1-3	0-0		1-2	4-2	6-1	6-0	3	1	5	7
神大同好会	0-3	1-3	2-2	1-1	2-1	2-1		0-5	5-1	4-3	3	3	3	7
長田クラブ	1-2	0-2	2-2	0-2	0-1	2-4	5-0		1-3	5-2	2	1	6	5
関電神戸	1-8	0-3	0-1	1-3	0-0	1-6	1-5	3-1		3-1	2	1	6	5
双和運輸	0-9	2-3	0-6	1-3	0-4	0-6	4-3	2-5	1-3		0	1	8	1

2部 A	KR&AC	オフサイド	神高ワ	住友コム	川重発本	兵教C	水道局	鶴甲1丁	勝	分	敗	勝点
KR&AC		4-1	4-0	6-0	5-0	5-0	6-0	7-1	7	0	0	14
神戸オフサイド	1-4		5-1	0-0	2-0	3-2	4-0	5-1	5	1	1	11
神高クラブ	0-4	1-5		3-2	2-1	0-3	7-2	3-1	4	0	3	8
住友コム	0-6	0-0	2-3		1-1	4-3	3-0	3-0	2	3	2	7
川重発本	0-5	0-2	1-2	1-1		3-0	9-0	3-0	3	1	3	5
兵庫教員C	0-5	2-3	3-0	4-3	0-3		4-0	4-1	3	1	3	5
神戸市水道局	0-6	0-4	2-7	0-3	0-9	0-4		5-0	1	0	6	2
鶴甲1丁目	1-7	1-5	1-3	0-3	0-3	1-4	0-5		0	0	7	-2

2部 B	KFCB	滝川青	育英タ	甲山FC	スポーツ	KFCC	三菱電	兵庫庁	神農園	勝	分	敗	勝点
神戸FC B		5-0	2-2	4-2	0-2	1-0	3-1	3-1	2-1	6	1	1	13
滝川クラブ	0-5		2-4	2-0	1-0	2-0	1-0	1-0	1-0	6	0	2	12
育英クラブ	2-2	4-2		2-2	1-1	4-3	1-1	2-0	3-0	3	5	0	11
甲山FC	2-4	0-2	2-2		3-1	1-1	2-0	5-1	3-1	4	2	2	10
神戸スポーツマン	2-0	0-1	1-1	1-3		1-4	2-1	1-2	1-0	3	1	4	7
神戸FC C	0-1	0-2	3-3	1-1	4-1		0-2	1-0	2-4	2	2	4	6
三菱電機	1-3	0-1	1-1	0-2	1-2	2-0		0-0	1-0	2	2	4	6
兵庫県庁	1-3	0-1	0-2	1-5	2-1	0-1	0-0		4-0	2	1	5	5
神戸税関	1-2	0-1	0-3	1-3	0-1	4-2	0-1	0-4		1	0	7	2

3部 A	フ瀬原	T D川	舞本	三 N勝	分	敗	勝点
神戸ファイヤー	0-0	0-0	0-0	0-0	8	0	16
瀬FC A		0-0	0-0	0-0	7	0	14
県職神戸	0-0	0-0	0-0	0-0	7	0	14
N T T神戸	0-0	0-0	0-0	0-0	5	2	12
神戸FC D	0-0	0-0	0-0	0-0	4	2	10
川重神戸	0-0	0-0	0-0	0-0	3	2	8
舞子台クラブ	0-0	0-0	0-0	0-0	2	1	6
FCホイップ	0-0	0-0	0-0	0-0	3	0	6
三星ベルト	0-0	0-0	0-0	0-0	0	3	3
NKクラブ	0-0	0-0	0-0	0-0	1	0	8

モンブラン発。愛するサッカー人へ。



マーカムSFホワイト
●カラー/ブラック×ホワイト・ブルー・レッド・ケリー ●サイズ/20.0-27.0cm
標準小売価格 ¥5,000



コーチャーCTR-21
●カラー/ブラック×ホワイト ●サイズ/21.0-28.0cm
標準小売価格 ¥5,600



コーチャーCTR21-PS
●カラー/ブラック×ホワイト ●サイズ/22.0-28.0cm
標準小売価格 ¥5,200